⑹　社会福祉事業

利用者が個人の尊厳を持って、その人らしい自立した生活を安心して送れるよう支援するため、職員のスキルアップのための機会を充実させました。また、福祉人材の不足等厳しい経営環境に対応するため、ＩＣＴ機器の活用を含む業務効率化への取り組みを実施しました。

児童福祉施設での子育て支援や里親制度の普及・啓発活動、高齢者福祉施設での実習受け入れや近隣の学校等での講座の実施及び障害者福祉施設での相談支援事業を継続的に実施し、誰もが生活しやすい地域社会づくりに努めました。

⑺　医療事業

地域医療構想に基づく医療提供体制の整備を進めるほか、質の高い医療を提供するための医療ＤＸの推進、実効性の高い感染症対応の体制整備のため、全医療施設において「新型インフルエンザ等対応マニュアル」の改訂を完了しました。

また、困難な経営環境においても、地域から求められる医療を提供していくため、グループ全体として保有する経営資源の有効活用を図るなどグループとしての経営効率の強化に取り組みました。

⑻　看護師等の養成

明治23年の看護師養成開始以来、看護師養成実績は12万6,578人となりました。

また、赤十字理念を基盤とした高い実践力を備えた看護師を育成するため、看護管理者研修や保健師助産師看護師実習指導者講習会をオンライン形式で開催し、各研修とも、赤十字施設等から多くの研修生が参加しました。

⑼　血液事業

医療需要に見合った血液量の確保に努め、合計約500万人の献血者を受け入れ、約1,752万単位（200mL献血由来換算）の輸血用血液製剤を医療機関へ、120万Ｌの分画製剤用原料血漿を製薬メーカーへ供給しました。

また、少子高齢化による献血可能人口の減少や新型コロナウイルス感染症の影響による学校献血機会の減少により、若年層を中心に新規献血者が減少傾向にあることから、若年層を中心とした献血の普及啓発に努めました。

2　令和７年度収支決算の要旨

⑴　一般会計

（百万円）

本社収入	18,849	本社費	17,177
社資収入	9,802	災害救護事業費	603
委託金等収入	80	社会活動費	248
補助金及び交付金収入	765	国際活動費	3,599
災害義援金預り金収入	0	社業振興費	1,809
繰入金収入	5,885	基盤整備交付金・補助金支出	2,662
借入金収入	0	貸付金支出	0
貸付金償還金収入	100	償還金支出	66
出資金受入金収入	0	積立金支出	4,552
資産収入	500	出資金償還金支出	33
雑収入	1,249	監査費	86
前年度繰越金	465	総務管理費	2,676
		資産取得及び資産管理費	838

支部収入	28,896	支部費	25,782
社資収入	18,655	災害救護事業費	6,165
委託金等収入	33	社会活動費	2,732
補助金及び交付金収入	399	国際活動費	170
災害義援金預り金収入	3,631	指定事業地方振興費	530
繰入金収入	2,156	地区分区交付金支出	1,631
借入金収入	0	社業振興費	2,152
貸付金償還金収入	8	基盤整備交付金・補助金支出	1,597
出資金償還金収入	0	貸付金支出	2
資産収入	421	償還金支出	7
雑収入	427	積立金支出	4,603
前年度繰越金	3,162	出資金支出	0
		総務管理費	2,822
		資産取得及び資産管理費	742
		本社送納金支出	2,623
歳入合計	47,745	歳出合計	42,959

⑵　医療施設特別会計

ア　収益的収支

（百万円）

本社収益	3,770	本社費用	13,545
医業収益	0	医業費用	11,216
医業外収益	2,855	医業外費用	1,396
医療社会事業収益	0	医療奉仕費用	0
付帯事業収益	0	付帯事業費用	0
特別利益	914	特別損失	933
		法人税等	0
病院収益	1,216,466	病院費用	1,160,646
医業収益	1,145,595	医業費用	1,127,693
医業外収益	57,303	医業外費用	11,324
医療社会事業収益	807	医療奉仕費用	8,000
付帯事業収益	12,535	付帯事業費用	12,455
特別利益	223	特別損失	964
		法人税等	208
収入合計	1,220,236	支出合計	1,174,192
		収入支出差引額	46,044